

形名	適用機種	A	ろ材	適用環境
PAC-CE24UTB	PFAV-P450(V)M-A	1060	FS-1705W(白)	オイルミスト濃度 0.5mg/m ³ 以下
PAC-CE25UTB	PFAV-P560(V)M-A	1280		

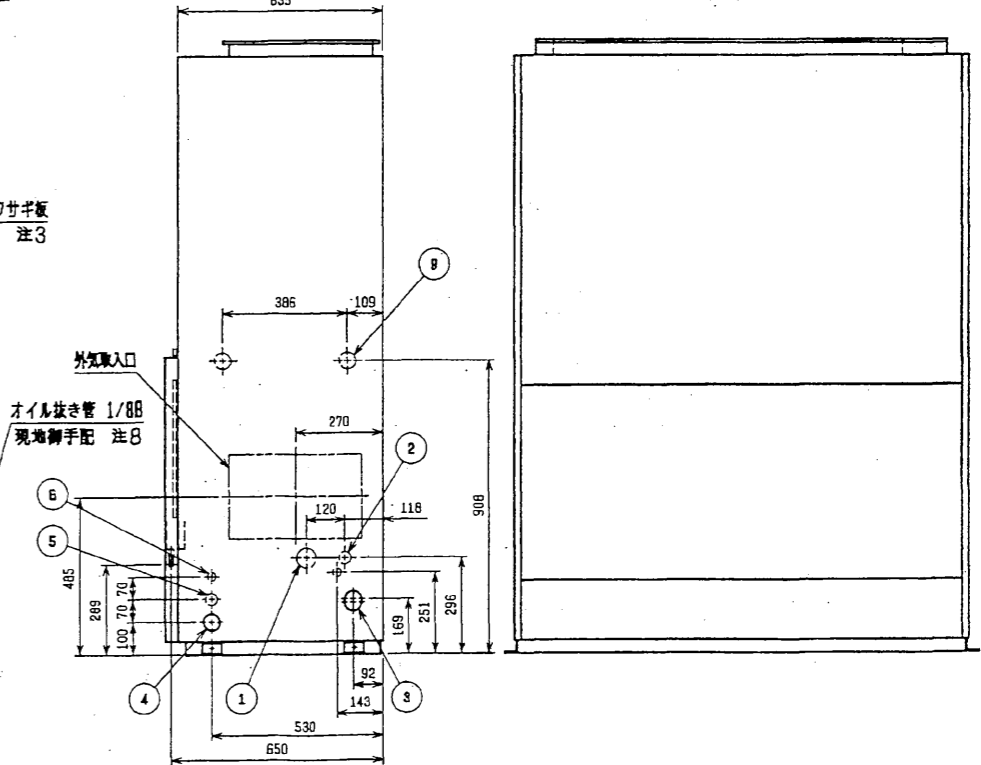
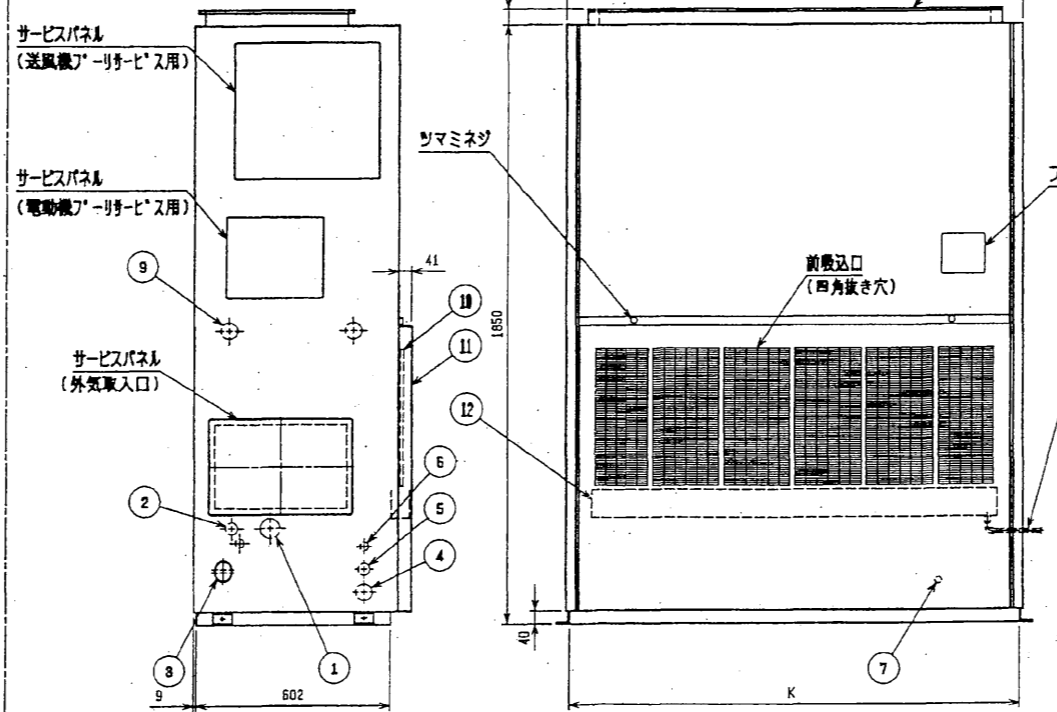
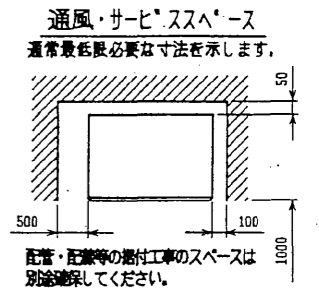
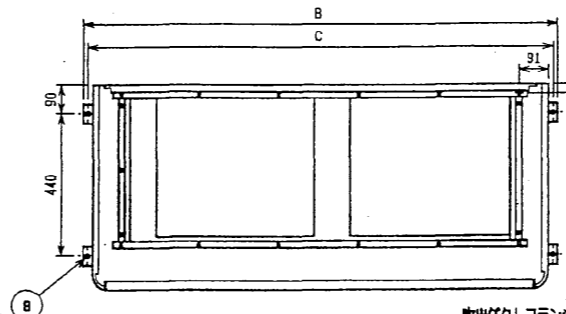
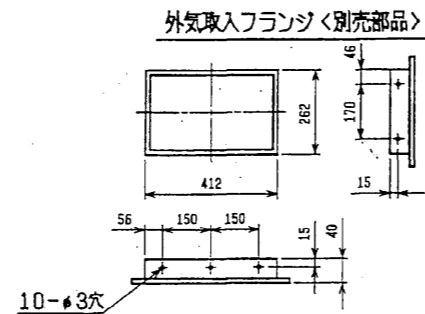
- 注1. 本体に油等の可凝物が付着しますので、発火の原因となるような火元が近づかないようにしてください。引火点温度の低い油環境では使用しないでください。
2. 空調機からのドレン排水には少量の油分があるため、下水処理のある下水に流すか、油分を処理してから排水してください。
3. 油環境下ではMAリモコンを使用することはできません。MAリモコンを本体から取り出し、油分を含まない環境下に設置してください。また、本体のリモコン角穴部にはオイルフィルタユニット<別売部品>に付属しているフサギ板を取付けてください。
4. 油の種類によっては、加水分解により有機酸（蟻酸・酢酸等）を発生する油があります。その場合、銅管腐食の原因となりますので使用は避けてください。
5. 本ユニットには電気ヒーター、ペーパーパン加湿器、送風機加湿器、中・高性能フィルタ、HEPAフィルタ、後吸込みダクトフランジ、外気取入れフランジの組込みはできません。発火や腐食の原因となります。
6. オイルフィルタの交換周期は、1週間～2カ月を目安としてください。使用環境、油の濃度・粘度、じんあい量等によって異なりますので早い時期での確認をお願いします。また、ユニット内部の標準フィルタも同時に清掃してください。ドレンパン、ドレン管の清掃も合わせて実施しドレン排水性を確認してください。
7. ユニット内部は油環境下での使用により、通常より汚れが早くなり寿命が短くなる場合があります。熱交換器、ドレンパン、モータ、ファン等、定期的にメンテナンスしてください。油の付着により、Vベルトのスリップ現象が起こりやすくなりますので、プリー-Vベルトの油除去も実施してください。
8. オイルパンにはオイル抜き管の接続が可能です。市販のねじ込み式おすエルボ1/8 (JIS B 2301に準じたもの) をご用意いただきご使用ください。必ずシール材を用いてねじ部をシールしてください。また、オイル抜き管を接続されない場合は、オイルパンに溜まったオイルがオーバーフローする前に捨ててください。オイルの量は前面サービスパネルを開けることで確認することができます。オイルは前面サービスパネルを開けるとともにオイルパンを前面上方方向に引き出してから捨ててください。オイルパンがオーバーフローしますとオイルがユニット前面外部へ流出します。
9. オイルフィルタを組込むことにより、機内抵抗が増加します。技術資料を参照し静風圧部品を選定してください。

PAC-CE24UTB	110~140m ³ /min
PAC-CE25UTB	150~180m ³ /min

	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
PFAV-P450(V)M-A	1200	1258	1230	1046	1006	257	4	1028	16	1178
PFAV-P560(V)M-A	1420	1478	1450	1255	1215	247	5	1235	18	1398

NO.	名称	NO.	名称
1	冷媒配管<ガス> P450:φ31.75, P560:φ38.1 ロウ付	7	アース端子 (制御箱内に設置) ……5ヶ所
2	冷媒配管<液> ……φ15.88 ロウ付	8	基礎ボルト穴 ……4-φ12
3	ドレン穴 ……1/4B	9	加熱器 (蒸気・温水) ……1 1/2B
4	設置電源穴 ……φ52	10	オイルフィルタ<別売部品> PAC-CE04・05UF
5	電源穴 ……φ37	11	オイルフィルタユニット<別売部品> PAC-CE24・25UTB
6	室内外連絡穴、伝送線穴 ……φ27	12	オイルパン

- 注1. 冷媒配管のパネル貫通部は隙間がないように確実にコーキングしてください。
2. 伝送線と電圧200V以上の配線は必ず分けた経路としてください。
3. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。



オイルフィルタ組込

作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE
2002-11-18	2003-06-18	床置ダクト形室内ユニット外形図 PFAV-P450, 560 (V) M-A
SCALE NTS	三井電機株式会社	REV. A